

## 子どもの虐待について

(質問) 児童虐待相談対応件数は15年間で5倍に急増し、本市は子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を中心に相談対応している。国は来年4月から2つの機能は維持したまま新たにこども家庭センターの設置を自治体へ求める。母子保健と児童福祉の一体的支援は児童虐待防止に有効と考えるが本市の取り組みは。

(答弁) 令和6年度のこども家庭センターの設置に向け、より一体的な支援のために組織の改編も踏まえながら検討を進めている。

その他の質問 ○企業誘致 ○中学校の学校給食



## 鈴鹿市の文化財指定における現状について

(質問) 現在、鈴鹿市には多くの文化財があるが、①文化財指定に対する市の考え方、②市の文化財指定審査の取り組み、③将来文化財指定が市の発展に及ぼす影響、この3点についてお聞きしたい。

(答弁) ①貴重な文化財を次の世代へ継承するために必要であり、適切な保存に向けて取り組む。②文化財調査会と協力し、文化財の指定に向けた業務を進める。③文化財保護の推進により歴史と文化を継承するとともに、産業振興部と連携し地域資源として地域の誇りや活気などにもつなげていく。



## 安全・安心なまちづくりについて

(質問) 防災危機管理との意見交換において、本市独自の津波避難タワー建設の必要性は無いという方向性を示されたが、その根拠について問う。

(答弁) 津波避難施設の確保は重要であり、地域と連携し、民間のビルなどを津波避難施設として利用することに協力いただけるよう働きかけるとともに、施設整備の補助制度を設けている。また、公共施設の建て替えに際し、津波避難施設の整備を合わせて行っている。今後

も施設の指定拡大に努めていく。

その他の質問 ○本市のスポーツ振興



## AI導入時代における職員の対応について

(質問) AIの社会実装が進み、既知の問題の中でも責任問題がその代表例であり、本市も早急な対応が必要である。行政事務へのAIの導入状況、生命財産に関する判定へのAIの関与、AI判定による結果と対応について問う。

(答弁) 業務効率化を目的に導入するAI技術は、AI-OCRとAI音声認識の2つ。生命財産に関するものも含めAI判定システム導入には至っていない。結果責任は組織として対応すべき。

その他の質問 ○少額随意契約工事等の契約事務簡素化基準 ○地域維持型維持修繕業務委託の妥当性



## 白子駅について

(質問) 白子駅西ロータリーにおける一般利用者の送迎用の乗降エリアはどこになるのか。また、2027年にリニア中央新幹線が開通する時期と鈴鹿市制85周年に合わせて、白子駅名を「鈴鹿市白子駅」に改称することを提案する。

(答弁) 一般利用者には白子駅西ロータリー西側歩道沿いに乗降用停車エリアを確保している。また、駅名変更は駅名看板の変更や券売機などのシステム変更をはじめ莫大な費用がかかる。地域のニーズを踏まえ慎重に対応する。

その他の質問 ○脱炭素社会に向けた取り組み



## 住民主体の地域の在り方を問う

(質問) ①小学校区と行政区、地域づくり協議会のエリアがずれている地域の現状と課題は。②複数の中学校にまたがる小学校区の現状は。

(答弁) ①区域のずれによる課題は、活動区域が異なる団体の連携時の資金や人員等の調整、同じ学校内における行事への参加可否の混在などがあるが、市民生活への影響が大きく解消に至っていない。地域づくり協議会代表者会議を通じた課題共有により、誰もが住みやすいまちを目指す。②現在4小学校で事例がある。児童生徒数の推移や地域の声も伺い、必要な通学区域の見直しを検討する。

